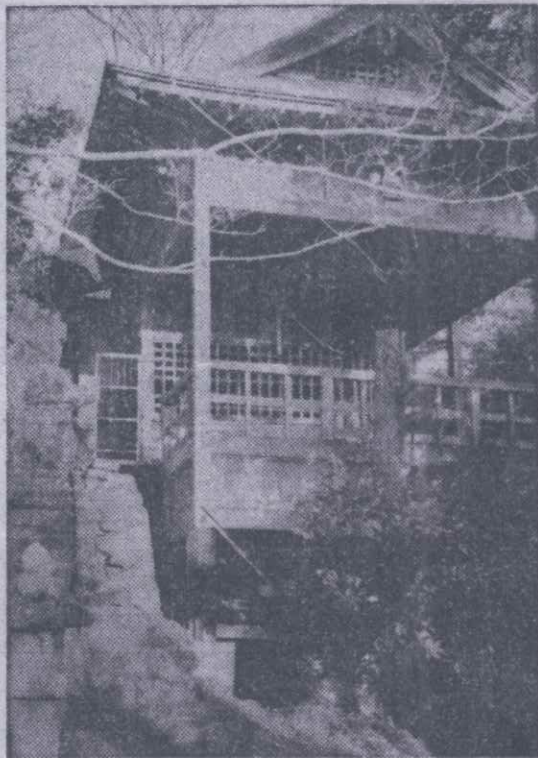


木戸不動尊を整備

鳥山 来年一月、盛大に祭礼



鳥山町小原沢の木戸不動尊が、地元の人たちの力で整備された。木戸不動尊は、那珂川を眼下に見下ろすカケの上であり、大圓元年に貴顕上人の開山といわれ、岩谷山青龍寺(天台宗)の所屬となっていたが、これが廃寺となり、実徳院顯成寺(真言宗)の所屬となった。那須家の祖須藤権守貞信が那須守護願となつて代々守り本尊として崇敬され、のち増改築

屋根のふきかえなどには代々の鳥山城主なども参進しているが、明治三十八年火災にあり、焼けて替えられた。

木造の考釈に於てあり、断がいの岩膚に建てられているだけに危険。このため地元の小森市夫さんら三十五人が、浄財を出しあい、柱の土台近くをコンクリートで補強、さらに柱同士を鉄骨でななめに追み、横ゆれを防ぐ処置をする

【整備された木戸不動尊】

とともに、お堂の前の舞台の手すりも直し、祭礼の旗も新しくした。一方、これと時を同じくして町商工観光課も、お参りする人の手洗い所を直したり、県道からの入り口に木製の案内板を立て、面目を一新した。

地元の人たちは、これで初もうでの人々がたくさんきて安心する

すといつており、臘日の来年一月二十八日には、新しい旗を立て、盛大に祭礼を行いたいと話している。